### 「卒園生集まりの会」を8月11日(金)に開催致しました。

年8月の山の日に開催をしようと、決めているイベントでありなが ら、コロナウィルスの影響で、3年越しとなってしまいました。

嬉しいことに、当日は9名の卒園生がホームに来てくれました。正 直、予定時間に間に合うかどうか心配していましたが、多少の遅れで スタートできました。久しぶり過ぎて、特に男の子たちは、職員や入 所時に一緒だった児童と顔を合わせて、照れくさそうにしていまし た。児相同士では、当時小学生が中学生になっている児童は、人見知





[卒園生集まりの会」を8月11日(金)に開催致しました。本来毎 子、ジュースと、ホットプレートを会場に用意し、クレープ作って食べ ました。談笑をしながら、ホームで保管しているアルバムをみんなで 見て、当時を振り返って盛り上がりました。

> また、アルバムに加え、ムービーと、現在ホームにいない当時関わ りのあった職員からのメッセージ動画集をつくり、卒園生に向けて、 おかえりと応援メッセージを送りました。時間としては、2時間という 限られた短い時間ではありましたが、みんなの良い笑顔がたくさん 見られました。是非、来年も開催していきたいと職員一同思っており ます。(児童課 前田)





#### 相模原市里親養育包括支援センター(通称「ふうせんかずら」)

#### 里親体験談を開催しました。

8月5日(土)に2023年度市民向け里親制度啓発の活動の1つ里親体験談 を開催しました。合計9名の参加がありました。

体験談には2家庭の里親さんに語っていただきました。長期養育で男児と生 活している里親家庭から里父さん。『子どもから、「お父さん嫌い。」などという 発言をされても、一緒に暮らすことを選んだ大人として、君が大好きだよという メッセージを伝え続けたい。また子どもが大泣きしたり、騒いだりして大人が困 る行動をした時は、子どもの気持ちも疲れている時であったり、落ち着かない 時だと受け入れて、少し無理矢理でも抱きしめて気持ちを受け入れて行きた い』というお話しがありました。少しづつ積み上がっている関係から、困る行動 や言葉も受け止め、うちの子として育てるという覚悟を強く感じました。

もう1組は緊急一時保護の活動にご尽力いただいている里父母さんで、自宅 から急に一時保護になる子どもに、今必要なら今我が家にと思う気持ちから、 切れ間なくお預かりいただいてきました。どの子どもにもその時々愛情をかけ

て育てている様子がわかり、大変な中にも笑顔が多く、子どもの発言にドキドキ しながらも楽しく過ごす里母さん。そんな里母さんを冷静に支えつつも、色ん な状況にある子どもの言葉にハッと気が付く話や、もっとこうすれば良かったと 反省する里父さんの話もありました。

体験談を聞くたびに、その家庭の数だけ物語があると感じます。委託のかた ちに関わらず、参加した方からは、「里親さんの子どもに対する心構えなど経験 者でないと分からない内容があり勉強になった。』という感想があり、今後も継 続したい活動だと実感しました。

#### ホームページも開設しています。

相模原市里親制度についてまた、今後行われる 制度説明会など順次UPしていきます。是非ご覧ください。 https://fusenkazura.chusinkai.net (ふうせんかずら 内山)



#### で寄付お礼 [2023年4月~6月] 熱いご支援、ありがとうございます。

株式会社セクメット 瀬戸誠 様/ニラク 海老名本郷店 様/コストコホールセール座間倉庫店 様/ 株式会社ザ・シティ相模大野店 様/サンラッキー相模原店 様/フードコミュニティ 代表 中臺ひろし 様 /相模原南地区更生保護女性会 様/坂本美和子 様/坂間農園 様/高田一美 様/Aden&Anais 株式会社 様/他匿名1名

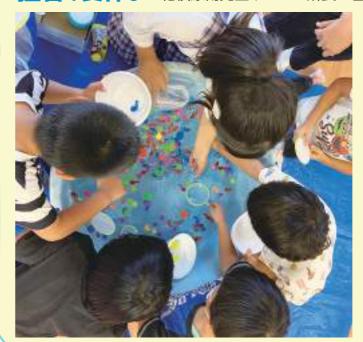
#### 親子サロンについて

親子サロンにつきましては、現在準備 中です。

開始する準備が整いましたら、ホーム ページにてご案内いたします。



# 猛暑と夏休み 相模原南児童ホーム 所長 曽我 幸央



今年の夏は記録的な猛暑日が続き、毎日のように熱中 症警戒アラートが発令されました。

ホーム周辺にはたくさんの自然があり、毎年、カブトム シが採れるのですが、カブトムシの姿を今年は身近に見る ことができませんでした。猛暑の影響と因果関係がある のか分かりませんが、人間だけでなく、自然界の生き物に とっても厳しい暑さだったのかもしれません。

子どものたちの夏休みの過ごし方も、熱中症防止のた めに、如何に屋内で有意義に過ごせるか工夫をしながら の毎日でした。ひと昔前までは、虫取り、プールなど、外で 元気よく遊び、9月の新学期には、真っ黒に日焼けした子ど もたちの姿が見られたのですが、今は危険な暑さのため、 外で遊ばせることができなくなってしまいました。

それでも、地域の皆様のご厚意で、屋内での夏祭り、ス イカ割り、流しそうめん、花火など、コロナ禍ではできな かったイベントを皆で楽しむことができました。ご協力い ただいた地域の皆様、誠にありがとうございました。

## 職員のお誕生日

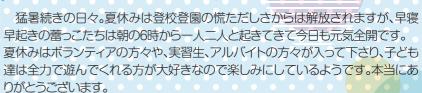


乳児課の住澤職員 が8月16日(水)に お誕生日を迎え、 ユニット職員より お祝いのエプロ ン、三角巾をプレ ゼント。

いつも素敵な美 声で子どもたちに歌 を歌ってくれ、子ども たちと走り回っている姿に

私たち職員も住澤職員から元気をもらってい ます。(曽我)

# 夏休みの過ごし



夏休み期間はユニットごとにイベントを考えていますが、蕾ユニットは幼児が多 いため、急な熱や風邪をひいてしまうことがよくあります。先日はファミレスでの 外食を計画していましたが、体調を崩した児童がおり、急遽テイクアウトディナー に変更。元気な子どもたち3名と一緒に座間イオンの食料品売り場にレッツゴー。サ ンドイッチや焼きそば、デザートなど、食べたいものをかごに入れる体験をしまし た。その中で一番盛り上がったのは「ポケモンパン」でした。シールのおまけにそれ ぞれが大喜び。楽しい夜ご飯になりました。行事もまだまだ計画中。子どもたちに夏 の思い出が一つでも多く残りますように、暑さに負けず楽しんでいきたいです。 (児童課 鳥井)

今年の夏休みは毎日のように熱中症警戒アラートが出て 思うように外遊びなどが出来ない日も多かったですが、その 中でも各々のユニットでプール遊びや水遊びなど少しでも 涼しく過ごせるように工夫をしながら遊んでいました。

また、ユニット外出や映画外出、外食、公園外出、地域のお 祭りなどコロナ予防には気をつけながらも少しずつ以前の ようにお出かけも出来るようになり子ども達も楽しむこと が出来ました。

特に子ども部会が中心となって実施したホーム内での夏 祭りはとても盛り上がりました。かき氷の機械や流しそうめ んめんの竹、ガチャガチャをお借りしたり、おもちゃなどの寄 贈もあり子ども達もとても喜んでいました。ありがとうござ いました。(児童課 油座)

8月17日(木)に子ども部会主催の夏祭り、流しそうめん、 花火を開催しました。夏祭りではタピオカミルクティー、りん ご飴、ストラックアウト、射的、地域のみかんの木さんよりか き氷機をお借りし、かき氷を行い、日光建設さんに頂いた スーパーボールすくい、ガチャガチャの計7つのブースがあ り、どれも大盛り上がりでした。その中で子ども部会の児童 達もそれぞれのブースで店番をしてくれて大活躍でした。

流しそうめんでは当法人の高齢者施設、中心荘からとて も立派な竹をお借りして本格的な「流しそうめん」を行いま した。勢いよく流れてくる麺を箸で掴むのに苦戦している子 どももいましたが、上手に掴めた時の嬉しそうな笑顔を見 てこちらも温かい気持ちになりました。食べすぎてお腹が破 裂しそうになっている子もいましたが本格的にやることが でき、大満足な姿が見られました。

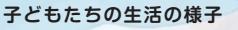
暗くなってから「花火」をやりました。合計1000本超えの 手持ち花火を談笑しながら楽しみました。夏と言えば「お祭 り、流しそうめん、花火」と夏を満喫できる行事を南児童 ホームの中で出来た事で子ども達も夏休みの良い思い出に なったと思います。また来年も職員、子どもで一緒に楽しめ るように企画していきたいと思います。(児童課 関)

コロナウイルスが減ってきた影響も大きく、今年は久しぶ りに外で開催されているお祭りに行くことができました。

私自身女子ユニットに異動してから初めてのお祭りで、度 重なる夏のイベントで子どもたちのお小遣いは尽きていた ため歩いて回るのがメインとなりましたが、お祭りの雰囲気 を存分に楽しむことができました。

いつもの遊びに行く恰好とは異なり浴衣を着ておしゃれ を楽しむのも女の子らしい楽しみ方だと思います。また公園 などに遊びに行く時よりも人が多いからこそ子どもたちも 周りのことを気にしなければならず、公共のマナーを身に着 けることができます。歩き疲れて途中で帰りたがる子どもも いましたが、最後にみんなで花火を見たときはみんなで空 を見上げ、連れて来られて良かったと思わされました。

ここ数年は感染症の影響もあり、なかなかさせてあげら れなかった夏らしい経験を久しぶりにさせてあげられた気 がします。(児童課 吉田)



# 清量大大



スイカ割りをしたり



虫取りに行ったり



みんなで花火をしたり



ボディペインティングを したり



流しそうめんやしたしたり



かき氷を食べたり





金魚すくいをしたり

浴衣を着て花火を観たり



ぜり - を作って食べたり



「虫取りに行こう!!出勤すると、そんな声が聞こえます。夏 休みが始まり、暑さも増してきていますが、子ども達は暑さ に負ける事も無く、元気いっぱいに過ごしています。男の子 のお部屋では小学生の間で虫取りが流行っており、近隣へ 虫取りに行っています。南児童ホームの周辺は自然豊かで、 虫取りの好きな子からすると、まるで宝箱のよう。蝉やトン ボ、蝶などを器用に捕まえては、それを見せてくれます。

対して受験を考えたり、アルバイトにたくさん入りたい高 校生にとっては、勝負の夏。塾に行って勉強をしたり、アルバ イトの予定を増やしたり、時には友達と一緒に街に出て買い 物や遊びを楽しんだり、忙しくも充実した夏休みを過ごして おります。

昨年度まではコロナ禍により、窮屈な思いをさせていま したが、少しずつ以前の夏休みを取り戻しつつある子ども 達。そんな彼らのエネルギッシュな姿を見ると、こちらも負 けていられないな。と言う気持ちになります。 (児童課 杉山)

今年の夏は非常に暑い日が続いていますね。熱中症ア ラートもほぼ毎日のように発令されていますが、乳児課で は、夏にしか楽しめないイベントをいろいろと企画し、みん なで参加して楽しんでいます。

七夕には透明なゼリーに型を押し付けて、星型のゼリーを 作りました。自分で作ったゼリーを見ては、とっても嬉しそう に口に入れていました。また、みんなで夏野菜を育てること にも挑戦!乾いている土にみんなで「おおきくなあれ!」「おい しくなあれ!」とたくさん声を掛けながら、積極的にお水をあ げてくれて、立派なミニトマトやピーマンができました。

大きなスイカに向かって「えいっ!」と長い棒で叩いてみた り、ボディペインティングでは、身体に絵の具を塗って感触を 楽しみました。少しでも涼しさを味わうために、かき氷作り を企画。氷を削るハンドルは少し硬くて回しづらそうにして いましたが、削れた氷を触ると溶けてしまうことを不思議そ うにしたり、食べてみて今まで味わったことのない冷たさに 驚いた様子も見れたりして、とても有意義な夏休みを過ご しました。(乳児課 水落)

連日猛暑の為、散歩に出掛けられない日々が続いていま す。そのため乳児課では、梅ジュース作りやゼリー作りなど、 室内での楽しみを増やしています。特にゼリー作りでは、匂 いや手触りなどを楽しみながら五感をたくさん使い、各々の 個性あふれるとても素敵なゼリーを作ることが出来ました。 完成したゼリーは自分たちで食べる前に様々な部署の職員 に届けに行き、「ありがとう」と沢山声を掛けてもらい照れつ つも嬉しそうにしている子どもたちの姿がとても印象的で

他にも夏の風物詩であるかき氷作りやスイカ割りをした り、暑い季節ならではの遊びであるボディペインティングや 水遊びをしたりなど、身体全体を使って遊んでいます。暑い 中でもできる楽しいこと、暑いからこそよりおいしく感じる ものをたくさん発見し、子どもたちと充実した日々を送って

まだまだ暑い日は続きそうですが、みんなで夏を満喫し、 暑い毎日を乗り越えたいと思います。(乳児課 杉本)